



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
●編集：議会広報委員会
●発行日：平成27年7月24日
●〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119



屋子母海岸

海開きイベント 海のカーニバル2015

主な内容

- ◆ 第2回定例会のあらまし 2
- ◆ 一般質問 2～8
- ◆ 第2回定例会で審議された案件・陳情等の審査状況 9
- ◆ 市町村議会議員研修会・所管事務調査報告 10
- ◆ 奄美群島議会議員大会／議会の動き 11
- ◆ 議会インターネット映像配信／編集後記 12



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

平成27年第2回(6月)定例会

第2回定例会のあらまし

知名町議会第2回定例会は、6月16日から18日までの日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に6名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案は、専決処分事項の承認案件では地方税法の一部を改正する法律の改正に伴う知名町税条例の一部改正等条例の一部改正2件、平成26年度一般会計及び各特別会計の補正予算11件を承認。単独議案では、知名町職員の再任用に関する条例など3条例の一部改正、知名辺地総合整備計画の変更についてを原案可決しました。また、平成27年度一般会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計の補正予算(第1号)を原案可決しました。

議会の発議案件は、知名町議会会議規則の改正など4件を原案可決しました。

陳情については、採択2件、継続審査2件となりました。なお、前議会からの継続審査の2件については、継続審査1件、審議終了1件となりました。

第2回定例会

一般質問

6名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって質問が行われました。掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨です。(質問順に掲載)

○ 山崎 賢治 議員

1. 基幹作物の振興策について
2. 食品リサイクルセンターについて
3. 道路行政について

○ 奥山 直武 議員

1. 災害時の対応について
2. 観光施設について
3. 衛生関連について
4. 宿泊施設について

○ 名間 武忠 議員

1. 地方創生について
2. 老人ホーム「長寿園」の再整備を島民の養護施設として両町で整備できないか
3. 台風対策について
4. 企画振興課所管事務について

○ 今井 宏毅 議員

1. 地方創生総合戦略プランの進展状況について
2. 県農業開発技術センター・大隅加工技術研究センターの活用について
3. 田皆岬の展望台の設置や景観整備等について
4. 県道・知名へ空港線改良について

○ 森山 進 議員

1. 空き家対策について
2. 農業用水及び農地について
3. 道路関係、安全対策について

○ 松元 道芳 議員

1. 日本一のフラワーアイランド「おきのえらぶ島」構築をめざして
2. 上城地区「大当池」について
3. 知名環境センター前道路について
4. 新城海岸道路について
5. 古里入口の町のイメージ看板について

バレイショの干ばつ対策は

町長／適切なかん水を



山崎賢治議員



ハーベスター

問 ハーベスターの料価格差の設定は。
答 町長 Ⅱ早急な料金改定は基盤の脆弱な農家や高齢者等の生産意欲の減退にも繋がりがねず慎重な対応が必要だと考えている。改定については、ハーベスター組合と生産者間の合意形成が重要であり研究や議論を深めるべきだと思っている。

問 さとうきびの補助事業の取り組みは。
答 町長 Ⅱセーフティーネット基金として存続するが、その対応については、事前計画書の作成が必要のため、現在関係機関と検討中であり必要な時期に事業実施が出来るよう取り組んで行く。

問 輸送コスト支援事業の取り組みは。
答 町長 Ⅱ本事業は昨年の九月より受付を開始しており、現時点では八団体が取り組んでいる。申請には一定の基準が



バレイショのかん水

問 バレイショの干ばつ対策は。
答 町長 Ⅱこれまでバレイショ栽培では、畑かん等を活用したかん水は必要ないとの認識が大半だったが、定期的なかん水を行う意識力の向上と給水栓設置の推進や適切なかん水時期の周知を図って行く。

問 町長 Ⅰ現状では収支バランスは取れていないが、液肥の認知度が向上すれば販売価格の改定等、運営面で改善が図られるものと思う。
答 町長 Ⅱ一年毎に委託契約を締結し、装置の管理全般や液肥の



食品リサイクルセンター

必要であり、全ての農家や、漁業者の生産物が対象とはなっていない。今後、関係機関と本制度を研究し、なるべく多くの方への支援策となるよう連携を図りたい。
問 食品リサイクルセンターについて。
答 ①採算については。
②㈱ガイアとの契約は。
③成分分析表示は。



サイクリングロード

品質管理や散布などを委託している。
問 サイクリングロードの全面開通の予定は。
答 町長 Ⅱ本件については、昭和五十六年十二月から一部不通となっている。その当時から地権者、県大島支庁、知名町、他関係者で話し合いを行い、解決に向け協議を繰り返しているが、解決に至っていない状況であり、現在のところ全面開通の目処はたっていない状況である。



奥山直武議員

日本列島で火山噴火や地震が多発しているが、本町としての対策は

町長／平成24年度、25年度に津波を想定し避難訓練を実施した

問 日本列島で火山噴火や地震が多発しており、我が町も津波など影響があると思うが町としての対策は。

答 町長 平成24年度、25年度に津波を想定し避難訓練を実施した。ハード的な整備として、海拔表示板、防災行政無線の整備、津波なども考慮し、ウジジ浜・フローラルパーク・屋子母海岸近くに拡声子局を整備した。

問 硫黄島の噴火が発生した場合の農作物被害への対策等は。

答 町長 火山活動に変化が見られる場合は関係機関と連携を密にし、町民に情報提供を行う。

問 地震や津波と大きな被害が発生した場合を想定し、物資運搬等を含む協定を町と沖永良部漁協と交わすことはできないか。

答 町長 大規模な災害に大型船舶が港湾施設に接岸できない場合も想定されるので、復旧、救援物資の輸送方法、手段等を含め、「知名町防災計画」で検討する。

問 防災無線の合成音声は聞きづらいが改善をするのか。

答 町長 システム改修後の音声合成の放送が、聞きづらい、緊急性が感じられない等の声もあり、6月11日に音声速度等の調整を行った。

問 両町と観光協会と協力し観光物産施設を建設できないか。

答 町長 施設の建設にあたっては、既存のお土産店等との関係もありますので、和泊町及びおきのえらぶ島観光協会と協議・検討を行っていく。

問 観光物産施設と併用して農産物販売の直売所の開設を望む声があるが、町としての考えは。

答 町長 農産物直売所は現在、町内に3ヶ所あり、今後とも直売所の充実に向けた取り組みを協力して進めていきたいと考えている。

問 本年も蚊が異常発生しているが、町全体での蚊の駆除消毒はできないか。

答 町長 殺虫剤等の一斉散布は蚊等の害虫駆除には有効な手段ではあるが、他の生物等周辺環境へ与える影響等を考慮して現在は行っていない。

問 ゲストハウス（簡易宿泊施設）の設置の考えは。

答 町長 既存の民間簡易施設との関係もありますので、民間で出来ることは民間にお願いし、今後「島の生活」を観光資源と捉えた民泊事業の普及・拡大等に対応していきたいと考えている。



防災無線拡声子局



町内の農産物直販所



大山のログハウス

地方創生について、両町の戦略会議を併設できないか



名間武忠議員

町長／まずは町で策定し、両町又は奄美全体での仕分けをも考えている

問 地方創生について、両町の戦略会議を併設できないか。

答 町長 地域間の広域連携を積極的に進めることとし、両町で実施できるものについて、は、協議・連携をしていく。

まずは町の総合戦略をリストアップし、策定すると共に、その中で両町で進めた方が効果的であるのか、奄美全体で取り組むべき事項などを仕分けすることを考えている。

問 委員会に知識・技能や本事業への意欲的な委員の公募制はできないか。

答 町長 現在、推進本部及びプロジェクトチームを設置しており、各分野のワーキンググループを設置し、幅広く意見の徴収に各分野で活躍している人材を選定している。今後、必要に応じ、進捗状況を検討しながら、一部委員については公募も視野にいれ検討する。

問 老朽化の著しい「養護老人ホーム」の早期建設に向け両町で協議はできないか。

答 町長 開園から45年が経過しており、整備に向けて関係機関等に問い合わせたが難

しいとのことであり、また、町内の類似施設についても同様な取り扱いが予想され、大きな財政負担が生ずることとなり、非常に困難な問題だと認識している。



養護老人ホーム「長寿園」

問 台風時に停電の現状・復旧の見通しについて周知はできないか。



電線と交差するガジュマル

答 町長 停電については、防災無線 インターネット で情報を流している。復旧見込みについては、原因箇所の特定や安全性から早急な周知は困難であると理解している。町民の停電による不安の解消については、九州電力と連携を取りながら情報の周知に努める。

問 停電時の給水対策は十分に取られているか。

答 町長 台風の進路予想によって各施設への発電機設置を行っている。本年度から発電機不足を補うために町内の建設業者と発電機の貸出し及び設置に係わる協定書を締結している。燃料等についても優先供給に関する協定書を町内の給油所と締結しており、災害時等の水道水の安定供給に備えている。

問 避難箇所(字公民館)の自家発電機の設置状況について。

答 町長 本年度に防災拠点施設整備事業で容量は、2・8KVAの照明、冷蔵庫、携帯電話の充電等に十分に使える発電機の設置について、現在、関係機関との調整を行っており、終了後の早い時期に各字に整備を行う。

問 危険空き家や倒木等の危険箇所の確認・把握をし、対策の必要はないか。

答 町長 危険空き家の把握は、町内を巡回し調査を行い、区長会と連携して所有者、管理人について詳しく調査を行っている。今後、適切な管理の助言、指導を行い周辺住民の日常生活に影響を与えない措置を講ずる。

問 2020年鹿児島国体のバレーフティング競技・知名町開催に向けた選手の育成・確保について。

答 町長 「地域おこし協力隊」の導入は受入れ体制、隊員の任期終了後の取組み等が課題となる。今後、別の観点から競技関係者と協議を行いながら検討を進めたいと考えている。

問 フローラル館・サウナの営業時間を早めることはできないか。

答 町長 入浴者数は、入浴者の多い冬場に開始時間を早めるなどの対応ができないか、おきえらぶフローラル株式会社 役員会等で検討したい。



今井宏毅議員

本町の地方創生総合戦略プランの進展状況は

町長／8月に地方版人口ビジョンを策定し、12月を目途に地方版総合戦略策定を予定している

問 本町の地方創生総合戦略プランは設置から2か月になるが現在の取り組みは。

答 町長 平成27年4月17日「知名町・まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し全庁的に推進する事を決定。5月15日には庁舎内において21名でプロジェクトチームを設置した。また、産・学・官・民・労・言からなる有識者会議を設置、施策ごとの数値目標を精査頂き8月を目途に地方版人口ビジョン策定、12月を目途に地方版総合戦略策定を予定している。

問 県農業開発技術センター・大隅加工技術研究センターの活用について。

答 町長 農業開発総合センターは本県農業の総合的な拠点として農業技術の開発や担い手の育成を効率的かつ総合的に推進するための農業関係試験場や学生教育、新規就農希望者・農業者・県民などを対象とした研修を実施しており、本町の担い手農家や技術会等の視察研修も幾度となく受け入れて頂いている。また、大隅加工技術研究センターは、高付加価値型農業の展開を図るため、新たな加工・

流通技術の研究開発、加工業者による加工品の試作品づくりや販路拡大等を支援する県の研究開発拠点として本年4月に開設され、研究開発・企画支援・施設の開放の3つからなり、企業や大学との共同研究も推進している。六次産業化等に関する各種支援事業やセミナーの情報提供と、開放施設の予約・確認ができるため、町においても個別相談時には紹介を行い、ホームページに会員登録の掲載も行う等については、意欲のある農家が適切な機会に適切な支援を受けられるよう積極的な活用と情報提供に努め、農家育成を図っていく。



大隅加工技術研究センター

問 田皆岬の展望台の設置について。奄美・沖縄の世界自然遺産登録が迫る中、田皆岬が国定公園から国立公園になるものと思うが、地元以外貨をもたらず観光客呼び込むためにも展望台の建設は急務ではないか。

答 町長 現在、奄美群島琉球弧世界自然遺産登録への動きとして、最速で平成29年度の登録を目指しており、その前段階として奄美群島では現状の国定公園が28年頃国立公園に指定される予定である。今後とも国や県に対し情報収集に努め、平行して有利な補助事業の検討を行っていきたい。



田皆岬

問 県道・国頭知名線田皆字内道路については、平成14年度から字民総意として強く要望し、一部改良がなされた。残りの区間についても危険道路

として、幾度となく要望しているが、現状・今後の対策を伺う。

答 町長 田皆字内の道路改良要望区間については、歩行空間が狭く歩道がないため危険であり、当地区からの整備要望を受け、県の道路改良等の公共事業については、必要性・重要性・緊急性・効率性・熟度の評価を行ったうえで優先順位を決定しており、多額の用地補償費を要する地区・箇所については、優先度評価が厳しい状況であるとは伺っている。今後も地元住民と一体となって早期事業採択に向けて、継続して要望を続けていきたい。



県道・国頭知名線田皆字内道路

空き家対策について

町長／しかるべき措置を講じていきたい



森山 進議員



町内にある空き家

問 現在、各字にある空き屋の件数は。又、所有権の住所が不明な件数は。

答 町長 平成25年度の調査では空き家件数は73件で、所有者の住所が不明な空き家は、20件となっている。ただし、調査依頼に対し回答があった集落は11集落である為、実際の空き家件数、及び所有者住所不明の件数については増えるものと考えている。

問 危険な空き家についての対応はどのように。

問 町内での遊休農地の面積並びに対応策は。

答 町長 農地開発事業知名団地への畑かんについては、「県営中山間地域総合整備事業知名地区」において実施する計画にしており、水源は山田ダムを予定しているが、県や関係機関との協議調整が必要ですので検討させて頂きたい。仮に山田ダムからの導水が出来ない場合は、再度、既設水源等からの余剰水が無いかなどを含めて、改めて県なども相談していきたい。

問 畑かん事業のない地区への対応策は。

答 町長 危険な空き家は特定空き家に分類されたと考えられる。空き家といえども個人の財産であり、この法律又は条例に基づく所有者等に対する措置については、強い公権力の行使を伴う行為が含まれることから、今後はこの指針を踏まえ、本町の実情に応じた判断基準を定めること等により、これらの措置に係る手続きについての透明性及び適正性の確保を図った後に、しかるべき措置を講じていきたいと考えている。



堅山商店東側道路

答 町長 当路線についての要望書を集落から提出して頂

問 堅山商店東側道路から臨港道路への拡張工事が出来ないものか。

答 町長 本町の遊休農地は48・6ヘクタール全農地面積の2・1%となっている。農地は、農業生産の基盤であり、地域における貴重な資源である。対応策として①土地所有者と借り手や買い手を結びつけるための活動②土地基盤整備事業による事業導入への啓発③耕作放棄地再生利用交付金の活用④農地中間管理機構による貸し付けを検討する。



堅山商店から原田スタンドまでの通学路

問 堅山商店から原田スタンドまでは児童の通学路である。歩道等の安全対策は。

答 町長 最終的な対策は歩道設置と考えているが、段階的な対策として、道路の路肩と側溝に色をつけ歩行空間の視覚化を行い、その対策事業として防災・安全交付金事業の平成28年度要望を行い早期対策が行えるよう取り組む予定である。



松元道芳議員

日本一のフラワーアイランドをめざしての取り組みは

町長／植栽の場所や時期などについて協議をしながら取り組んでいく

問 町長 Ⅱ フラワーコンテストについては、昨年度まで町内の個人や団体を対象に行われていたが、今年度からおきのえらぶ観光協会において、島内全域を対象として実施され、盛会の中、観光協会の総会の場で表彰が行われた。町としては、フラワーコンテストの周知・広報など、今後、必要な支援をしていきたいと考えている。

答 おきのえらぶ島観光協会では、フラワーコンテストを実施して9回になり、今年から両町に呼びかけ13団体（知名町11、和泊町2）のエントリーがあり毎年盛会になって来ている。町として今後どう取り組んでいくのか。

問 日本一のフラワーアイランド「おきのえらぶ島」をめざした取り組みは。

答 町長 Ⅱ おきのえらぶ島観光協会の活動方針の中で「地域の人々や環境を生かした愛される島づくりの振興」が掲げられているので和泊町及び観光協会と植栽の場所や時期などについて協議をしながら取り組んでいく。

問 上城地区「大当池」の漏水防止について。

答 町長 Ⅱ 現在のゴムシートからより強度や耐候性に優れた高密度ポリエチレンシート（白シート）による遮水工と池周辺のネットフェンスの取替えを計画しており、先日平成28年度の新規採択予定地区として県の計画ヒアリングが実施されたところである。



上城地区「大当池」

問 知名環境センター前道路について。大雨が降ると水溜まりができ車輛の通行に支障をきたしているがその対策は。



新城海岸道路

答 町長 Ⅱ 平成30年度の防災安全交付金事業において全面舗装が対応できるよう、社会資本総合整備計画に計上しており、それまでは従来通りの補修対応で進めていきたい。

問 新城海岸道路について。南日本牛乳前から沖泊港への道路の凸凹がひどいが、全面舗装できないか。

答 町長 Ⅱ 現在その対策として、平成28年度の防災・安全交付金事業において舗装工事の要望中であり、問題解決に向けて取り組む予定である。



古里入口のイメージ看板

問 古里入口の町のイメージ看板について、三年前の台風で破壊され、未だに鉄骨がむき出しになっている。町の玄関であり大変見苦しい。町マスコットキャラクター「ちなポー」も決定したので目立つように描いて歓迎してもらいたい。

答 町長 Ⅱ 本年度の早い時期に、観光業関係者の意見も取り入れながら、改修を行いたいと考えている。マスコットキャラクター「ちなポー」のバリエーションについても知名町のイメージ出来るように、全体のバランスを考慮し、レイアウトしたいと考えている。

問 町長 Ⅱ 本年度の早い時期に、観光業関係者の意見も取り入れながら、改修を行いたいと考えている。マスコットキャラクター「ちなポー」のバリエーションについても知名町のイメージ出来るように、全体のバランスを考慮し、レイアウトしたいと考えている。

平成27年第2回定例会で審議された案件

議案番号	件 名	議決結果
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第2号） 知名町税条例の一部を改正する条例について	承 認
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第3号） 知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承 認
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第4号） 平成26年度知名町一般会計補正予算（第10号）	承 認
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第5号） 平成26年度知名町一般会計補正予算（第11号）	承 認
承認第6号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第6号） 平成26年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第7号） 平成26年度知名町介護保険特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第8号） 平成26年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第9号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第9号） 平成26年度知名町奨学資金特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第10号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第10号） 平成26年度知名町知名町国民宿舎特別会計補正予算（第1号）	承 認
承認第11号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第11号） 平成26年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第12号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第12号） 平成26年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第13号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第13号） 平成26年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第14号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第14号） 平成26年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第2号）	承 認
議案第40号	知名町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	知名町辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第42号	知名町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第43号	知名町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第44号	平成27年度知名町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第45号	平成27年度知名町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第46号	平成27年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
発議第2号	知名町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
発議第3号	議員派遣の件	決 定
発議第4号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書	原案可決
発議第5号	森・里・川・海環境税（仮称）の創設に関する決議	原案可決

陳情等の審査状況

番号	件 名	陳 情 者	結果
陳情第2号	浄化槽改変新設工事に対する支援について（陳情）	沖永良部空港ビル株式会社 代表取締役社長 山田 明	採択
陳情第3号	世界自然遺産登録をめざす、奄美群島の山々から辺野古の海へ埋め立てへ土砂の持ち出しを禁止する議会決議を求める陳情	奄美市名瀬和光町 2-7 自然と文化を守る奄美会議 協同代表 大津幸夫、園 博明	継続審査
陳情第4号	自然環境と住民生活を守る「鹿児島県採石条例の改正」を県議会に要望することの陳情	奄美市名瀬和光町 2-7 自然と文化を守る奄美会議 協同代表 大津幸夫、園 博明	継続審査
陳情第5号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情	大島郡龍郷町浦 111-1 番地 あまみ農業協同組合代表理事組合長 上岡重満 県農民政治連盟知名支部 支部長 島 元嗣	採択

前議会からの継続審査状況

平成26年 陳情第16号	「J A 自己改革」に関する陳情書	大島郡龍郷町浦 111-1 番地 あまみ農業協同組合代表理事組合長 上岡重満 県農民政治連盟知名支部 支部長 島 元嗣	継続審査
陳情第1号	「集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回決議」の採択を求める陳情	大島郡知名町屋子母 104-1 西 善一	審議未了

市町村議会議員研修会・所管事務調査報告

- 1 期 日 平成27年 5月13日～15日
- 2 場 所 始良市、鹿児島市、鹿屋市

(1) 所管事務調査（始良市）

○ 社会福祉法人「としび会」



社会福祉法人「としび会」は、平成6年8月に法人認可され、障害者支援施設「喜びの里」、共同生活事業所「じゃんぷ」、生活支援センター「よろこび」を運営し、心身障害児（者）の豊かな暮らしのための支援を各種行っている。対象は心身障害児（者）本人だけでなく、その家族や周りを取り巻く地域の方々を含めたトータルの支援事業を展開している。

○ 株式会社「わくわく園」



株式会社「わくわく園」は、平成18年8月に創業し、桑の葉健康茶や桑サプリメントなど安心・安全・高品質のものづくりにこだわり、自家栽培の桑の葉は農薬不使用、有機肥料のみを使った土作りから、育成、収穫、加工、焙煎、品質管理まで全て自社で一貫して行う体制を整えている。

○ NPO法人くすの木自然館



NPO法人くすの木自然館は、子どもから大人、障害を持つ人々など幅広い層を対象に、環境教育、自然教育、野外教育、地域文化教育などの企画、運営など環境学習に関する事業を行い、自然と人、人と人との豊かな出会いの場と情報を提供し、自然と人との調和の取れた生活意識教育と豊かな自然の保全に寄与することを目的に幅広い活動を行っている。

○ かごしま環境未来館



かごしま環境未来館は、環境への関心や理解を深め、それを日常生活において、環境保全活動に実施させることと活動の輪を広げていくことを目的に建設された施設で、環境学習講座（環境に配慮した生活や行動ができる参加体験型の環境学習講座）や環境学習プログラムなど、環境意識の高揚や環境保全活動への機運を高めるための事業が行われている。

3 まとめ

以上が、県内市町村の議員を対象とした議員研修会と、その前後の日程で実施した合同所管事務調査の内容ですが、本町でも取り組んでいる桑の葉等の6次産業化、国営畑かん事業、農業開発総合センター、大隅加工技術研究センター等の調査や地方創生の研修など幅広い調査・研修をすることができた。これらを今後の議員活動、委員会活動の参考としていきたい。

(2) 市町村議会議員研修会（鹿児島市）



市町村議会議員研修会では、2名の講師による国の進める「地方創生」や「鹿児島を活性化させた農業と将来への挑戦」についての講演があり、自分の地域を知る、地域全体で取り組む、地域にあるものを生かす、地域にお金の落ちる「仕組み」をつくることの大切さなど、示唆に富んだ研修が行われた。

(3) 所管事務調査（鹿屋市）

○ 笠野原土地改良区（国営畑かん事業）



笠野原台地は、昭和30年に国営第1号の畑地かんがい事業が採択され、昭和35年笠野原土地改良区を設立、その後、高隈ダムが作られ、昭和57年、総事業費約85億円を投じた笠野原台地開発事業が完成している。また、施設の老朽化に伴い、平成25年度からは国営施設機能保全事業による施設の補修・補強が行われている。

○ 農業開発総合センター大隅支場



農業開発総合センター大隅支場は、鹿児島県の畑作農業をサポートするため、栽培部門と環境部門から畑作農業への情報発信が行われている。研究の柱としては、畑作農業生産技術改善、輪作・付付け体系、機械省力化、低コスト化、環境保全技術の確立など「高生産性・環境保全型畑作農業新技術の開発」に関する調査試験を実施している。

○ 大隅加工技術研究センター



本県では、高付加価値型農業の展開を図るため、大隅加工技術研究センターが整備された。このセンターでは、実需者ニーズに対応した新たな加工・流通技術の研究・開発を進めるとともに、各施設を加工事業者等に開放し、加工品の試作品づくりや販路拡大等を支援している。

奄美群島市町村議会議員大会（和泊町）

5月21日、第58回奄美群島市町村議会議員大会が和泊町で開催され、12市町村の議会議員や市町村長、県議会議員が出席。本町からの提案で議長会提出となった「さとうきび増産基金事業の恒久化について」の議題を含む各地区から提出された次の7議題が採択されました。



《採択された7議題》

- 一、奄美群島貨物輸送コスト支援事業の実施について
- 二、平土野港多機能港湾新設整備について
- 三、主要地方道名瀬瀬戸内線大金久〜戸円間トンネルの早期実現について
- 四、超高速ブロードバンド（光ファイバー）の整備促進について
- 五、国道58号線（龍郷町役場から浜千鳥館前）拡幅改良について
- 六、さとうきび増産基金事業の恒久化について
- 七、藻場再生事業の奄美群島振興交付金による実施について

議会の動き

4月

- 1日 認定こども園「きらきら」入園式
- 2日 元町長故日吉得藏様偲ぶ会実行委員会
- 6日 小・中学校入学式
- 7日 幼稚園入園式
- 8日 沖永良部高等学校入学式
- 8日 挨拶回り（鹿児島県庁）
- 9日 議会議長・事務局長合同会議（奄美市）
- 10日 転入教職員宣誓式・歓迎会
- 16日 国営土地改良事業促進協議会監査
- 17日 議会勉強会（大山目衛隊基地）
- 20日 教育懇談会推進委員会
- 21日 農業改良普及事業協議会監査
- 25日 老人クラブ連合会総会
- 28日 公民館講座開講式
- 29日 県政説明会（鹿児島市）
- 植樹祭・沖泊海浜公園ボランティア清掃
- 元町長故日吉得藏様偲ぶ会

3月

- 17日 第1回議会定例会閉会
- 20日 認定こども園「きらきら」卒園式
- 平成26年度学校管理職等送別会
- 幼稚園卒園式
- 沖永良部衛生管理組合議会定例会
- 沖永良部バス企業団議定会定例会
- 新通信指令台導入式典・祝賀会
- 沖永良部・与論地区広域事務組合議定会定例会
- 24日 小学校卒業式
- 有害鳥獣駆除対策協議会
- 25日 コミュニティづくり推進協議会総会

6月

- 2日 畜産振興会総会
- 5日 沖永良部さとうきび生産対策本部理事会（和泊町）
- 10日 奄美群島地域産業振興基金協会評議員会（奄美市）
- 奄美群島広域事務組合臨時議会（奄美市）
- 奄美群島航路対策協議会（奄美市）
- 奄美群島大島細振興対策協議会（奄美市）
- 11日 第2回議会運営委員会
- 沖永良部精神障害者家族会（喜生の会）総会
- 13日 沖永良部高等学校文化祭
- 16日 第2回議会定例会開会

5月

- 10日 婦人連絡協議会総会
- おきのえらぶ島観光協会総会
- 11日 春の全交通安全運動パレード・街頭キャンペーン
- 13日 所管事務調査（始良市）
- 離島関係町村議会議長会臨時総会・研修会（鹿児島市）
- 14日 議員研修会（鹿児島市）
- 15日 所管事務調査（鹿屋市）
- 17日 商工会通常総会・懇親会
- 18日 国営土地改良事業促進協議会総会
- 20日 水利用開発推進委員会
- 21日 第58回奄美群島市町村議会議員大会・懇親会（和泊町）
- 24日 第1回収穫祭式典・収穫祭
- 25日 知名・和泊両町合同議員研修会
- 27日 農業改良普及事業協議会総会（与論町）
- 29日 シルバー人材センター通常総会
- 31日 海のカーニバル2015

議会インターネット映像配信

知名町議会では、一般質問の様子をインターネット配信しています。インターネットが利用できる環境であれば、公開中の映像をいつでもご覧いただけますのでご利用下さい。
※ホームページに記載されている免責事項（注意事項）を必ずお読みになってからご利用ください。
（知名町ホームページ：http://www.town.china.lg.jp/）



- 1 知名町ホームページの右側にある「知名町議会中継」をクリックします



- 2 視聴にあたっての注意事項が掲載されています。視聴にあたっての、注意事項や映像をご覧になる為の端末についての説明や映像等の無断利用禁止について
- 3 過去の議会中継（記録映像）へ
これまでの議会中継を記録した映像を会期・一般質問者別に整理しています
- 4 一般質問通告書及び会期日程
これまでの一般質問通告書を会期毎に掲載しています。
- 5 議会の生中継を実施しています。利用可能な場合、クリックができます。
- 6 会期を示します
- 7 「再生」をクリックすると記録映像がご覧になります。配信方法は「youtube」を利用しています。

議会広報委員会 今井 宏毅

また来る10月にはマイナンバー制度が始まり来年1月から実施が予定されています。現在行政にも詳しい情報が入って来ないようですが、個人の情報が折に理が必要ですが、いざ説明会がある折にはしっかりと聞く必要があります。最後にこの編集後記が出るころは真夏となっているでしょう。しっかりと健康管理をして暑い夏を乗り切りましょう。

さて、本町に於いても4月17日「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」が設置され、12月を以て地方版総合戦略策定」を想定し本格的に始動しております。この新型地方創生交付金制度は各市町村の戦略で格差が出ます。本町に於いても5年後10年後、更には20年後も見据え、町の生き残りをかけた戦略の策定が課せられています。このことが議会の議決事項である事から、このことも含め最終責任は「首長だけでなく」議会も自らに課せられた議決責任を免れる事は出来ないと考えます。地域経営に責任を持つ議会」は万国共通であり、今後とも議会に対し町民の皆さん方の叱咤激励指導を願います。

編集後記

先の台風6号で農作物への影響が心配されましたが、最小限の被害にとどまり6月議会終了後、早魘が心配されましたが慈雨がもたらされ作物の蒼がいつそう増